

# 今年度のテーマは、“みんなで実行!!自然のモニタリング”

堀田昌伸・大塚孝一

今回で3年目、環境保全研究所飯綱庁舎の秋の恒例行事となりつつある、「環境保全に取り組む市民大集合」が10月6日（土）に開催されました。この催しは、「年に一度、環境保全や自然保護に関心のある市民や市民団体の方々に集まっていただいて、相互に有意義な情報交換や意見交換をできる場を提供したい」と企画されたものです。

毎年メインテーマを決めて開催しています。一昨年度は「国際生物多様性年」であり、生物多様性条約第10回締約国会議が名古屋市で開催される前だったので「足元から考える生物多様性」というテーマで行いました。また、昨年度は研究所が始める市民参加による温暖化影響モニタリング調査に興味をもって参加していただきたいとの思いから、「みんなで取り組もう、自然の調べ方」というテーマで行いました。さて今年度は、皆さんが日頃どんな環境のモニタリング調査をされているのか？調査をする上で疑問や悩みなどを共有できればということで、「みんなで実行!! 自然のモニタリング」というテーマにしました。

このイベントでは、(1) 今回のテーマに沿った方をお呼びして記念講演をしていただくこと、次に、(2) 市民や市民団体の方々が取り組んでいる活動について口頭発表とポスター発表をしていただくこと、そして最後に、(3) 研究所と参加して頂いた方々、あるいは参加して頂いた方同士で、楽しく有意義な意見交換をしていただくこと、の三つを柱として行っています。



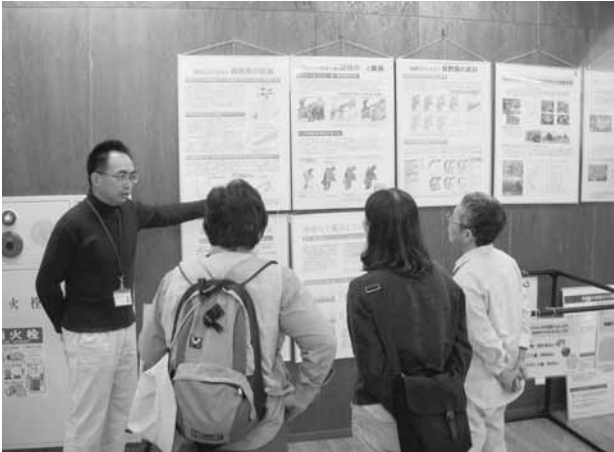
記念講演の様子



ポスターの前で熱心に意見交換する参加者

イベントの最初は、日本自然保護協会の藤田卓氏に「レッドデータブックの見方・使い方 ～市民が支える全国版植物RDB調査～」というテーマでご講演をいただきました。藤田さんは植生学や植物分類学がご専門で、伊豆・小笠原、鹿児島のある・無人島（南硫黄島まで）を巡りながら、伊豆諸島御蔵島の植生、小笠原諸島の固有植物の研究に取り組み、環境省版RDB調査やとりまとめに関わってきました。今回の講演では、そのような経験から、市民や市民団体の行う植物調査がRDB作成にとっていかに重要であったか、完成したRDBをどのように活用すべきかについて分かりやすく話していただきました。

記念講演の後、参加して頂いた団体の方によるポスター発表と資料展示をおこないました。昨年度はランチを食べながら楽しく意見交換をしましょうという企画でしたが、今年度はより意見交換や情報交換に重点をおいて頂くため、ランチとは別にしました。また、研究所からも現在実施している高山帯を中心としたモニタリング調査についてポスター展示をするとともに、地球温暖化影響モニタリング調査として行っている「夏鳥の初認・初鳴き調査」や「自然ふれあい講座：みんなで温暖化ウォッチ～セミのぬげがらを探せ!～」についても発表しました。皆さん、ポスターの前で熱心に議論されていたように思います。



研究所のポスター展示の様子

ランチをはさんで午後は、4つの団体の方に日頃の活動紹介や調査について発表して頂きました。「霧ヶ峰植物研究会」からは、霧ヶ峰の草原で火入れなどの草原の管理の仕方によってどのように草原植生が変化するかというお話、「日本野鳥の会長野支部」からは、日頃の活動として行っている探鳥会や支部報の発行、信州バードフェスタなど取り組みのお話、「はなのき友の会」からは、はなのきを中心とした生態調査やモニタリング1000を通じて、湿地の保全再生や保護監視についてのお話、そして、「北信濃の里山を保全活用する会」からは、絶滅危惧種オオルリシジミの発見を機に、里山を元気にする活動をどのようにされているかについてのお話がありました。どの発表もとても興味深いお話で、参加された方も参考になったのではないかと思います。

最後に、今回のテーマについて意見交換会をし、無事に終わることができました。研究所としても、市民あるいは市民団体の方々と率直な話ができることは、研究所の調査研究等を進めていく上でもとても重要だと考えています。今回のように、「市民大集合」が活動発表のようなかたちがよいのか、それともより意見交換に重きを



霧ヶ峰植物研究会の発表の様子



北信濃の里山を保全活用する会の発表の様子

おいたかたちがよいのか、いろいろと試行錯誤をしながら、よりよいかたちにしていきたいと考えています。

### プログラム（概要）

- (1) 記念講演：レッドデータブックの見方・使い方  
～市民が支える全国版植物RDB調査～  
講師 藤田卓氏  
(公財・日本自然保護協会 保護プロジェクト部)
- (2) ポスター発表・資料展示：日頃の活動についての情報交換  
参加団体（順不同）：軽井沢サクラソウ会議／北信濃の里山を保全活用する会／NPO法人 あーすわーむ／染屋の森の会／東信自然史研究会／小諸ミズオオバコ保全会議／NPO法人 みどりの市民／ながの環境パートナーシップ会議／茅野ミヤマシロチョウの会／はなのき友の会／NPO法人 信州ツキノワグマ研究会／NPO法人 森倶楽部21／千曲市環境市民会議／NPO法人 霧ヶ峰基金／NPO法人 信越トレイルクラブ／日本昆虫協会長野支部／日本野鳥の会長野支部／日本野鳥の会伊那支部／筑波大学農林技術センターハヶ岳演習林／信州水環境マップネットワーク／長野市自然環境保全推進員／安曇野市／長野県環境部自然保護課
- (3) 口頭発表：わたしたちの環境保全活動  
発表団体（発表順）霧ヶ峰植物研究会／日本野鳥の会長野支部／はなのき友の会／北信濃の里山を保全活用する会
- (4) 『みんなで実行!! 自然のモニタリング』意見交換会